

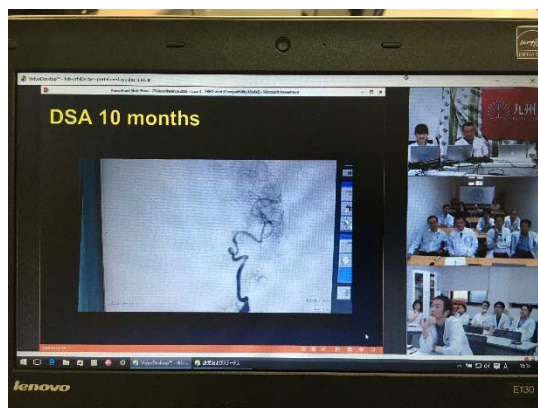
ベトナム・チョーライ病院と筑波大学附属病院との第 11 回テレカンファレンス

国際医療センター

平成 28 年 8 月 26 日に筑波大学附属病院とベトナム・ホーチミン市のチョーライ病院との間で第 11 回テレカンファレンスが、通常通り九州大学医学部の支援のもとに実施されました。テーマは脳血管内治療でこのテーマでは 2 回目の開催となりました。チョーライ病院側からは放射線科副医長の **Dr.Tuan** が脳動静脈奇形の治療、**Fred** ステントによる巨大頸動脈流に対する治療、筑波大学附属病院からは脳外科の滝川先生が計動脈瘤ステント治療の周術期管理について、鶴田先生が急性虚血発作に対する脳血管内治療について発表しました。脳血管内治療を行っているチョーライ病院放射線科と筑波大学附属病院脳神経外科のスタッフは実際の技術交流も盛んに行っており、それぞれの実情も理解しているためカンファレンスは非常に円滑に行われ、協議も活発に行われました。実際の技術交流と遠隔医療カンファレンスの組み合わせでより効果的な技術協力が実施できています。



筑波大学附属病院側の遠隔医療会議室



チョーライ病院からの発表の画像